



藤沢市片瀬東浜境川河口部

平塚市ビーチセンター～金目川河口部左岸

平塚市金目川河口部右岸～大磯町大磯海水浴場

小田原市酒匂川河口部

## 季節外れの台風襲来

平成 25 年、26 年と 4 月に爆弾低気圧通過に伴う大量のごみの漂着がありましたが、27 年 4 月には何事もなく平和なスタートが切れたなぁと思った矢先に、5 月にもかわらず日本列島に台風の接近がありました。

5 月 12 日（火）未明に沖縄地方に接近した台風 6 号は、夜には温帯低気圧に変わったものの 13 日（水）には大雨とともに駆け足で通過して行きました。雨の降っている時間は短かったので海岸への影響は軽微かと思いましたが、期待とは裏腹に海岸はひどい状況になっていました。

特にひどかった場所が下記の河川河口部を中心とした海岸でした。藤沢市片瀬東浜境川河口部、平塚市ビーチセンター～金目川河口部左岸、平塚市金目川河口部右岸～大磯町大磯海水浴場、大磯町照ヶ崎～吉田邸下海岸、小田原市酒匂川河口部。

（上写真参照）

想定以上のひどい状況を分析してみると、

さまざまな要素が重なったことが原因と考えられます。

**1 半年ぶりの大雨だったため川岸、川底に溜まっていた葦や人工ごみが一気に流れ出した。**

平成 26 年 10 月の台風 18 号では年間ごみ量の 3 分の 1 を処理しましたが、それ以降半年以上神奈川県は穏やかな海岸状況が続いていました。

**2 短時間に予想以上の大雨が降ったためすべてのが流れ出した。**

深夜から未明にかけて降っていたので気がつきませんでした。漂着海岸の上流部では予想以上の雨が降っていました。海老名＝80mm、丹 沢＝81mm、箱 根＝99.5mm（降り始め 12 日 18 時から 13 日 2 時まで）これは通常清掃を超えて対応する緊急清掃の要件に当てはまる雨量です。

**3 温帯低気圧の通過後、南西の風が吹いた。**

一気に流れ出たごみはそのままですと沖に出てある程度量が沈みますが、降雨後すぐに南西の風が吹いたため、流れ出したごみが河川河口部を中心に大量に漂着しました。

それらの結果、これらの漂着ごみを片付けるために、藤沢市片瀬東浜境川河口部では約 48t、平塚市大磯町域では 64t、小田原市域では 12 t のごみを回収しています（一部 6 月に持ち越し作業のものもあるため確定値ではありません）

5 月に台風 6 号が発生するのは 1971 年以来 44 年ぶり、今年は例年に比べ台風の発生ペースが早くて多そうです。影響はありませんでしたが 1 週間後の 5 月 20 日には連続して台風 7 号の接近もありました。

今年の海岸はどうなることやら。。。想像すると少し気持ちが重くなってくるこのごろです。